



# 学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

平成28年6月30日

7月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 鈴木 秀一

〈校庭で採れたノコギリクワガタ〉

## 本物に触れる

校長 鈴木 秀一



梅雨に入り、鬱陶しい日々が続いております。水不足が心配されている地方もあれば、豪雨の被害も報道されています。心よりお見舞い申し上げます。

さて、梅雨空をぬって6月17日（金）に全校遠足が実施されました。今年から帰路の市営バス貸切にあたって、実施されない場合はキャンセル料が発生すると言われていましたのでとても心配していました。実施しなくて料金が発生した場合お金の出所がないからです。1回で実施できほっとしています。

それはさておき、今年度も6年生を中心に上級生が下級生のお世話をよくして、楽しく有意義な1日が過ごせました。上級生は何年か行き続けている場所なので、歩いて向かうときや遊び場所、遊び方など下級生に優しく適切に声をかけることができていました。荷物をもってあげている子、あと10分くらいで着くから頑張ると声を掛けて励ます子、お手洗いはこっちだから一緒に行こうと付添をする子・・・遊びやお弁当のときにもほのぼのとした交流ができていました。さすが、釜南の6年生、よきリーダーに育っています。この縦割り活動は本校の教育目標「友達を思いやり、友達とひびきあう心」を具現化した取り組みのひとつです。開校以来28年間継続している取り組みですので大事にしていきたいと思えます。

また、当日は多くの保護者の方々にサポートをしていただきました。交差点での交通安全、カラスから荷物を守ること、お手洗い付近の見守り・・・等多くの場面でお力をお貸しいただき誠にありがとうございます。リュックのチャックをしないうで海へ遊びに行ってしまった児童のお菓子が入った袋を、カラスが引っ張り出し飛び立とうとした瞬間に追いかけて止めてくださったお母様の素早いファインプレーに助けられました。持ち運ばれていたらその児童の楽しみにしていたおやつタイムに大粒の涙がこぼれたことでしょう。また、別のお母様からは「初めて全校遠足の様子を間近に見ました。子どもたちの楽しそうで生き生きとした表情がいたるところで見られてとてもよかったです。」とっていただいたことが嬉しかったです。今後とも保護者の皆様、地域の皆様には学校にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

6月7日に6年生が「劇団四季」の俳優3人から「美しい日本語の話し方教室」の出前授業を受けました。母音と口の形を意識することで日本語を正しく美しく話すことができるということを教えていただきました。どの子どもも目を大きく見開いて憧れをもって授業を受けていました。6月22日に4年生が2人の市消防局の方（4年生児童の保護者でもある）から出前授業を受けました。消防士さんの生の声を聞き漏らさないように真剣に聞く態度が印象的でした。6月23日は1～3年生に「お話ころりん村」の方々がお話を語って聞かせてくださいました。どの子どももお話の世界に引き込まれていました。

このように、本物に出会う、触れる、憧れをもつということは普段の授業の中ではなかなか味わえない素晴らしい体験です。それが将来の夢や希望につながることもあるでしょう。本校ではこのように教師以外の大人に出前授業をしていただく体験的な学習を重視し取り入れています。地域の方・保護者の方やご親戚、お知り合いでそのような講師がいらっしゃいましたらご紹介していただくと幸いです。

また、夏休みは本物に触れるよいチャンスです。「海や川や山など自然の中で魚や昆虫とのふれあい、月や星や流星などの観察」「テントを張り、火を起し、調理するスローライフなキャンプ体験」「帰省して久しぶりに会う祖父母や親戚や従兄弟たちとのふれあい」「お盆や墓参り等の伝統行事」「町内会の祭りや神輿への参加」「家族旅行での体験・見聞」など・・・

普段はテレビやゲーム、パソコンなどのバーチャルな世界に浸かっている日々です。本物に触れる体験ができる夏休みになるとよいのではないのでしょうか。

〈出前授業〉4年生 「消防士さんに聞こう」

6年生「美しい日本語話し方教室」

1～3年生「お話ころりん村」

